

静岡県教育長賞

親切のレベルアップ

浜松市立中郡小学校 六年

早津 爽汰



ぼくは「親切」ってすぐに手伝うことだと思っていました。その方がカッコイイ気がするからです。

でも、この前病院の待合室でちょっとした事件？があった。親切って意外とむずかしいぞ！と教えてもらったことがあります。

その日ぼくは母と一緒に第二診察室の前で順番を待っていました。すると小さな体のおばあさんが大きな体のおじいさんが乗った車イスを押してきました。通路はとても狭く、お

じいさんは「第二診察室だ」と、言い切ります。でも放送では手前の第一診察室と言っていたはず。狭い通路を九十度に曲がり車イスが進んできました。部屋を間違えたことに気が付いたおばあさん、狭い通路をバックして戻ろうとしますがなかなか上手いきません。ぼくはとなりに座っている母を見ました。母はとつくに気が付いていた様でしたが、全く動こうとしません。母は看護師さん、いつもならとつくに動いているのに今日はどうしたのかなと不思議に思いました。

しばらくしても誰も助けに来ません。その時母はようやく声をかけ、ドアを開け、部屋の中のイスを片づけ車イスを誘導しました。

ぼくは母に「さすが看護師さん」と、伝えました。

病院の帰り道母は「どうしてお母さんがすぐに動かなかつたかわかる？」と聞いてきました。母は、「お手伝いってね、なんでもすぐやればいいわけじゃないの。相手の人、周りの立場を考える事も大切なのよ。」と。

確かに本当は困っているのに遠りよしてしまふ人、逆に「今自分で頑張りたい」と思っているのに助けられることでチャンスをうばってしまうこともあると思いました。

ぼくは親切ってただの優しい心だけでは足りないんだなあと思いました。

ぼくは親切には必要なスキルがあると思います。

困っている？スムーズにいかない？など、キャッチするアンテナ力、ここを助ければ自分で進めると考える想像力。今助ける？それとも見守る？と決める決断力、声をかける勇氣。たくさん必要です。

でもぼくは一つレベルアップした親切ができるようになったので、筋トレみたいになんか少しづつきたえていこうと思います。

荷物を持ちながらスマホを出そうとしているお母さん。ア

ンテナ力で「荷物じゃまそう」と、気付き、想像力で「荷物をボクが持っていたら出しやすい」と考え、勇氣を出して「荷物持っていようか？」と声をかける。これぞレベルアップした親切。

ぼくは来年中学生、これからは自己満足のおせっかいではなく、本当に相手のためになる小さな親切ができるように頑張りたいです。



静岡県教育長賞

「ありがとう」の力

浜松日体中学校 三年

鈴木 すずき
鈴木 まり



「ありがとう」私はこの言葉が大好きだ。元々、明るくて、キラキラしていて、いい言葉だと思っていたが、私にはさらにこの言葉が好きになるきっかけがあった。

先日、駅で困っている外国の方を見かけた。彼はどうやら切符の買い方が分からないようだった。次の電車の時間は刻一刻と迫ってきている。このままでは間に合わない…私は思い切つて声を掛けた。

「メーアイヘルプユー？」

彼は私の拙い英語での説明を頑張つて聞き、理解してくれた。そして、無事に切符を買い終わった後、

「サンキュー」

と笑顔で私の方を見てお礼を言った。その後、私と彼はハイタッチをした。私はこの時、とても嬉しかった。それと同時に、彼に対する感謝の気持ちが沸いてきた。聞き取りづらい英語を理解してくれてありがとう、わざわざお礼を言ってくれてありがとう…今言わないと後悔する気がする。私も彼に、

「サンキュー」

と言った。彼に負けないくらいの笑顔で。私と彼はしばらくの間、幸せに包まれていた。

私は、今までにも何回かこのような人助けをしたことがある。しかし、こんなに幸せな気持ちになったのはこれがはじめてだった。それは彼に「サンキュー」と感謝の言葉を口にされたからだろう。後で調べたところ、海外では何か親切をされた時、主に「ありがとう」という意味の言葉を使うらしい。一方、日本ではそのような時、迷惑を掛けて申し訳ないという思いから「すみません」と言うことが多い。しかし、もし私がそう言われたらかえって心苦しく感じてしまう。「ありがとう」と「すみません」同じ五文字だが相手に与える印象は全然違うのだ。さらに私は「ありがとう」には、単なる「行動や気遣いに対する感謝」以上の意味が含まれていると思っている。それは、「相手の存在そのものに対する感謝」だ。その感謝を直接伝えるのは恥ずかしく、難しいことかもしれない。しかし、「ありがとう」で良かったらそれを言葉に伝えることができる。また、この「ありがとう」という言葉は、言われた人はもちろん、言った人も周りの人もみんな、まるっと幸せにしてしまう。それこそが「ありがとう」が持つ力で、私が冒頭で述べた「ありがとう」のイメージ、「明るくて、キラキラしている」の正体なのだろう。

「小さな親切」八か条の一つに「他人からの親切を心からうけ入れ『ありがとう』といましよう」とある。私も誰かに親切にされた時は「すみません」ではなく、「ありがとう」と積極的に言うようにしたい。私の大好きな、誰をも幸せにする魔法の言葉を。

